

2020年2月16日（日） 第4回新中学入試セミナー 2021年度中学入試が、日本を変える！

2021年度「学校選択の仕方・中学入試の学び方」の変化を探る

主催：21stCEO（21世紀型教育機構）×和洋九段女子 <http://21kai.com/>



日
時

2020年2月16日（日）
無料
和洋九段女子
中学校・高等学校

時
間

13:00 開演
受付開始12:30

対
象

教育関係者
保護者
定員：30名

場
所

和洋九段女子中学校・高等学校
フューチャールーム
〒102-0073
東京都千代田区九段北 1-12-12

「2020年度中学入試」は、プログラミング入試や自己アピール入試など新タイプ入試はさらに多様化し、思考力入試も才能を見出す新しい技術を開発しています。2科4科入試も思考力型問題が増え、帰国生入試も活況を帯びています。中学入試は新しい局面を迎えました。

この新しい局面が、受験生にとってどんな意味があり、大学合格実績の出方にどう影響するのか新しい情報を共有しましょう。そして、「2021年中学入試」における新しい学校選択の仕方と新しい学び方についていっしょに考えましょう。

当日は、すでに先行して新しい局面に突入している和洋九段女子のPBL授業の成果である生徒自身によるワークショップを体験する時間も設けました。

ワークショップを通して、新しい局面を実感していただいたあと、パネルディスカッションで、これから生徒にとって大切な学びとは何か？新しい授業PBLとグローバル教育が生み出す新しい進路指導とは何か？まだ見ぬ新しい学びの環境を共有しましょう。

新タイプ入試とPBLが生徒1人ひとりの才能を開花する

プログラム（敬称略）

13:00～13:30 中学入試のさらなる動き 基調講演Ⅰ

「2020年度中学入試の総括から考える2021年度中学入試の動向」

北一成（首都圏模試センター取締役・教育研究所長）

13:35～13:55 新しい人材を育成としての新タイプ入試とPBL 基調講演Ⅱ

「未来を拓くグローバル教育×PBL」

中込真（和洋九段女子校長）

14:05～14:35 SDGsスゴロクでPBL体験 生徒によるワークショップ

「PBLで生まれたSDGsスゴロクワークショップ」

和洋九段女子の在校生がファシリテーター

14:45～15:30 中学入試が教育を変える パネルディスカッション

「多様な中学入試とPBLの未来への役割」

北一成（首都圏模試センター取締役・教育研究所長）

新井誠司（和洋九段女子教頭）

児浦良裕（聖学院21教育企画部長）・田中歩（工学院教務主任）

和洋九段女子生徒

15:40～16:00 21世紀型教育の成果 トークセッション

アクレディテーションチーム

鈴木裕之（GLICC代表）・福原将之（株式会社FlipSilverlining代表）

神崎史彦（株式会社カンザキメソッド代表）

加盟校 15校 五十音順

アサンプション国際小中高等学校
工学院大学附属中学校・高等学校
香里ヌヴェール学院小中高等学校
静岡聖光学院中学校・高等学校
順天中学校・順天高等学校
聖徳学園中学・高等学校
聖学院中学校・高等学校
聖ドミニコ学園
聖パウロ学園高等学校
東京女子学園中学校高等学校
富士見丘中学校高等学校
文化学園大学杉並中学・高等学校
三田国際学園中学校・高等学校
八雲学園中学校・高等学校
和洋九段女子中学校・高等学校

お申込みは21世紀型教育機構サイトから

<https://21kai.com/webform/200216>